

計算書類に対する注記

平成29年3月31日
特定非営利活動法人
産業クラスター研究会

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金・前払金・前払費用・敷金・預り金及び未払い法人税を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は下記2項に記載する通りである。

(2) 消費税及び地方消費税の会計処理

税込み方式を採用している。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次に通りである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,399,086	2,911,889
前払費用	66,308	41,790
未収金		
敷金	144,360	144,360
合計	2,609,754	3,098,039
前受金	300,240	10,000
未払法人税等	124,500	124,500
預り金	35,356	36,162
合計	460,096	170,662
次期繰越収支差額	2,149,658	2,927,377